

## 『御伽草子』の語彙と表現（三）

宮 武 利 江

### 2. 漢語

前稿<sup>1)</sup>より引き続き、『御伽草子』の漢語について整理する。2-1では動作・事象に関わる語を挙げたが、2-2以下、事物・場所、人間・人体、動植物、それぞれに関わる語の用例数を示す。表記についても同様に、①仮名表記のみの語、①'ルビなしの漢数字・「御」などを除いて仮名表記の語、②漢字表記のみの語、③仮名・漢字が混用されている語（ルビ付きのものはここに含む）、の四種類に分けて掲出する。特に語義に注意が必要と思われる場合は注記を付す。

※本文は同じく岩波書店日本古典文学大系の『御伽草子』による（表記は大系本の表記方法から底本表記を知る方法で取った）。但し、いわゆる「御伽草子」23篇以外で大系本に含まれている「福富長者物語」「あきみち」「熊野の御本地のさうし」「三人法師」「秋夜長物語」の5篇中の用例については、漢字・仮名表記に23篇とは異なる傾向が見られるため、#を付して特に別掲する。

( ) 内は前出の用例のうち複合語の例を示す。

原文表記が仮名書き例しかないものは {カタカナ} で、ルビなしの漢字表記のみは (カタカナ) で示す。

混在するときは、{ユフ女} のように { } 内に仮名と漢字を示すが、ルビは {イ上} のようにアンダーラインを付す。（\*は歴史的仮名遣いに照らして仮名遣いに誤りがあるもの。）

#### 2-2. 事物・場所

##### ①仮名表記のみ

衣桁 {イカウ} 2 「衣類を掛けつるす竹」(邦訳日葡, 以下「日葡」とする)。

椅子 {イス} 1 日葡に見えず。／硫黃 {イワウ} #1

雲上 {ウンシヤウ} 1 日葡に「国王の宮殿の意に用いられる」とある通り、この1例は宮廷を指す。「シャウ」清音。

衣紋 {エモン} 1

街道 (海道?) {カイダウ} 2 (ークダリ1) 日葡「広い大道、または、陸上の街道」とあるが、訓注なく用字は不明。書言字考節用集(以下「書言」)には「海道」のみあり。

格子 {カウシ} 2 ／高欄 {カウラン} 2 橋の欄干のこと。

巖石 {ガンゼキ} 1 「Ganjeqi. Iuauo,ixi.」(日葡)。Ganxeqiはなし。

- 几帳 {キチヤウ} 3 // 摺宝珠 {ギボウシ} 2 「橋柱所用」(書言)。
- 御衣 {ギヨイ} 1 // 金銀 {キンギン} 3 ⇄ 「コガネシロカネ」2例。
- 具 {グ} 1 (モノノー) • #2 (モノノー1・ードモ1) 日葡では「具に足らぬ」「具に合はぬ」「具にはまる、足る」「絵の具」などの慣用的用法以外に単独では用いられないとしている。
- 宮殿 {クウデン} 3 (ラウカク<樓閣>1) 日葡見出し, Cüden, Qiüden ともにあり。「Cüden röcacu uo tatçuru. 宮殿, または, 豪華な家を建造する」。書言では「宮殿キウデン」。
- 供御 {グゴ・クゴ} 2 日葡Cugoなし, Gugoには、「飯。これは婦人語である」。
- 具足 {グソク} 7 (-す2) • #2 (-す1・さす1) 日葡の「具足す」は、一緒に連れて行く意になっている。
- 碁 {ゴ} 1 // 御器 {ゴキ} 3 木製の飯碗。
- 碁盤 {ゴバン} 1 // 金色 {コンジキ} 2 • #1
- 金泥 {コンディイ} 1 「金色塗りをするためにインク状にした金粉」(日葡)。
- 菓子 {ク\*ハシ} 2 果物をいう。 // 系図 {ケイヅ} 2
- 建盞 {ケンザン} 2 「すなわち, Temmocuno taguy. 茶を飲むのに使う茶碗の一種」(日葡)。
- 財 {ザイ} 2
- 財宝 {ザイホウ} 1 • #2 (-ども1) • {ザイ\*ハウ} 1 ⇄ 「たから」17 • #7 (-ども) • 2 (-もの・-物)
- 在所 {ザイショ} 1 日葡では「ある人が住んでいる所, あるいは, 今居る所」。
- 蒼海万里 {サウカイバンリ} 1
- 草履 {ゾウリ} 1 日葡「Zōri」の項に「一般にはIōri (ジャウリ) と言う」とあるが, 書言では「ザウリ」。
- 山海 {サンカイ} 1 日葡の例に「Sankaino tinbut, cocudono quaxi」あり。
- 色紙 {シキシ} 1 // 麝香 {ジヤカウ} 3
- 砂金 {シャキン} 2 日葡見出しにSaqinではなくXaqinのみ。書言では「沙金」の字をあてる。
- 宿 {シユク} 4 (カミノー1, サメガイノー1, トキハノー1, ヒキマノー1) 日葡では、「Xucu」は旅人宿の意だけでなく, その宿のある村落そのもの(宿場町)も指すと説明されている。
- 主殿 {シュテン・シュデン} 1 • #2 「権勢のある貴人の家」(日葡Xuden, Xutenはなし)。
- 順風 {ジユンフウ} 2 // 所々 {ショショ} 1
- 新宮 {シングウ} #1 // 新造 {シンザウ} 2
- 水晶 {スイシャウ} 3
- 清水 {セイス\*ヒ} #1 「しみづ」は歌中の「いはしみづ」, 古今のかずかの歌「野中の清水」引用のみ。
- 小河 {セウガ} 1 // 小国 {セウコク} 1
- 小車 {セウシャ} 1 ⇄ 「をぐるま」2例(「思ひまはせば～のやるかたなし」)
- 石巖 {セキガン} 1 「一がミとそびへつゝ」。大系や全集の注には「巖石(が高く角だってそびえているさま)」とあるが, ここでは日葡に言う「断崖, または, 岩塊」の「断崖」がきりたっているさま, ととるのがよいのではないか。
- 石塔 {セキタ\*ウ} 1 // 煎餅 {センベイ} 1
- 千駄櫃 {センダ\*ンビツ} 2 日葡にはXendabitçuのみ。小間物を入れる仕切りの多数ある箱, またはそれを背負って売り歩く行商人, という説明があるが, 大系・全集の注は「商品を入れた櫃を高く積み重ねたもの」となっている。「せんだびつ」を「せんだんびつ」と訛る例は『かたこと』に挙げられている。

- 束帶** {ソクタイ} 1
- 率土** {ソット} 1 「Sotdo. l, sotto.おしなべて土地全体」(日葡)。大系頭注は「国土のはて。辺土・辺境」。用例は「わが国なればそつとのうち、いづくに鬼神のすむべきぞ」で、「全体」の意では。
- 台** {ダイ} 2 盆など、物を載せる板を言う。 / **塔** {タ \* ウ} 1
- 唐舟船** {タウセンブネ} 1 日葡見出しにはTōxenとTōbuneがあるが、Tōbuneには、「卑語。Tōxenと言う方がまさる。」とあり、混乱が伺える。
- 唐土** {タウド} 1 ⇔「もろこし」2例。 / **他国** {タコク} 1
- 壇** {ダン} 1 日葡「祭壇、または、階段。」とあるが、ここは後者。
- 短冊** {タンザク} 1 日葡ではTanjacu (タンジャク)。節用集は「タンジャク」が多く書言が「タンザク」。
- 壇紙** {タンシ} 1 Danxi・Danji両方あり。 / **茶香** {チャカウ} # 1
- 茶碗** {チャワン} # 1 / **中門** {チウモン} 1
- 貲** {チン} 1 / **沈** {ヂン} 4 「沈香」のこと。
- 鎮守** {チンジユ} 1
- 珍物** {チンヅツ} 1 (サンカイノー) 日葡の言う「新奇な品物。また、珍しい料理。」の後者。
- 銚子** {テウシ} 2 / **殿** {デン} # 1
- 電光** {デンクハウ} 2 (-テウロ<朝露>2) はかないものごとのたとえ。
- 天冠** {テンクハン} 2 大系注「仏・天人などのつける美しい宝冠」。日葡なし。書言「テングハン」。
- 殿上** {テンジヤウ} 3 うち2例は「殿上する」意で、1例のみ宮中を指す。
- 土** {ド} 2 「此(この)～」で、「この世界」(日葡Conodo)。
- 東国** {トウゴク} 1
- 頭巾** {トキン} 1 Toqin , Zzuqin, 日葡は双方見出しあり。書言にも双方あるが、トキン(頭巾)は「修験者の具」、ヅキンは「布で頭をつつむもののうち四角いもの(丸は帽)」となっている。
- 土倉** {ドサウ} 1 (イシ<石>ノー) • {ド \* ソウ} 1 (イシノー) Dozō. Dosōではない。
- 南殿** {ナンデン} # 5 内裏。日葡では「すなわち、Dairuno goten. 国王の宮殿」。
- 南風** {ナンフウ} 1 / **人形** {ニンギヤウ} # 1
- 方丈** {ハウヂヤウ} 1 (-の間) / **方々** {ハウハウ} 1 Fōbō.
- 白雲** {ハクウン} 1 ⇔「くも」は多数あるが「しらくも」なし。
- 薄氷** {ハクヒヨウ} 1 「～を踏むが如く」の用例。
- 飯** {ハン} 8 ⇔「めし」5例、「いゝ」は例なし。
- 半挿盥** {ハンザ \* ウダラヒ} 1 「Fanzō」とは、「手に注ぎかけるのに使う、木製漆塗りのある容器」(日葡)。
- 翡翠** {ヒスイ} 1 (-ノカンザシ) • {ヒス \* ヒ} 3 (-ノカンザシ) 「ーのかんざし」で、つややかな髪の毛、緑の黒髪を言う。日葡ではFisuino canzaxi が「身分の高い夫人の頭や髪につける飾り道具の一種」とあって、意味を取り違えていると考えられる。
- 琵琶** {ビハ} 8 • {ビ \* ワ} 1 • # 2 (-法シ1) / **廟所** {\* ビヤウショ} 1 墓所。
- 舞台** {ブタイ} 4 / **風呂** {フロ} 5 (ユ<湯>-1)
- 瓶子** {ヘイジ} 1 「Feiji. 木製の酒徳利の一種」(日葡)。
- 宝珠** {ホウジュ} 1 日葡「Fōju」欄には、「Fōxu(Fōxuの誤) と言う方がまさる」とある。
- 蓬萊** {ホウライ} 6 (-ノヤマ<山>3, -キウ<宮>1) 日葡に見出しなし。

**本宮** {ホングウ} # 1

**幔** {マン} 1 大系注によると、「縦に布を縫い合わせたものをいう」。

**幙幕** {マンマク} # 1 「Manmacu. 阵中や船の中、または、家の中などに用いる幕」(日葡)。

**妙薬** {\*ミヤウヤク} 1 日葡によればMeōyacuで、仮名表記は「めうやく」となるべきところだが、語義から「名薬」と誤ったか?

**面廊** {メンラウ} 1 大系注「馬道→めんどう→めんろうと転じたもの。」とある。土間の長廊下。書言には「馬道」の右に「メダウ」左に「メンダウ」の訓、「堂に向かう道」の注あり。饅頭屋本節用集に「面廊(メンラウ)」と見える。

**帽額車** {モツカウグルマ} 1 「帽額はみすの上部にへりとして付けた布切れ」(大系)。書言では「布木瓜・布帽頭」をヌノヽモカウと訓む。

**文字** {モンジ} 4 • # 2

**文書** {モンジョ} 1 書類は書類でも、「将来のために残される書付、証書」(日葡)。

**横笛** {ヤウデヤウ} 1 「わうでき」からの転、とする注釈ある(王敵の音を忌んで)が、不明。

**油單** {ユタン} 1 (ニシキノー) この1例は、笛をくるむものとなっている。日葡に「物がひどい取り扱いをされたり、損じたりしないように、荷物や箱などの上に掛ける油紙やその他色々のもの」。書言の注は「厭雨蔽器衣」。

**雷電** {ライデン} 4 (イナヅマ 1) ⇄「カミナリ」が5例、「カミナリイナヅマ」が2例、「イナビカリ」1例。

**良薬** {ラウヤク} 2 (クチニニガシ 2) 日葡の見出し語形もRōyacuで、天草版金句集を引く(Rōyacu cuchini nigaxi。「忠言耳に逆ひ、良薬口に苦し」、原典は孔子家語)。書言は「リヤウヤククチニニガシ」。

**蠟燭** {ラツソク} # 3 日葡Rassocuで、Rōsocuなし。書言は右訓「ラフソク」、左訓「ラツシヨク」。

**瑠璃** {ルリ} 9 /**靈社** {レイシャ} 1 • # 1 (レイブツ<靈仏> -)

**靈地** {レイチ} # 2 /**連歌** {レンガ} 4

**艤櫂** {ロカイ} 2

**六条** {ロク \* デウ} 1 地名ではなく、豆腐の一種「六条豆腐」。日葡のRocugiōも、「干した固い豆腐で作ったある種の食物」とする。書言の説明では「豆腐を切って水気を取り、陰干したもの。京の六条の辺りの人が最初に作ったのでこの名がついたか」。

**黃水** {ワウスイ} 1 「Vōzui. l, Vō(õの誤)dan. 胆汁、すなわち、体液の一つ」(日葡)。

**王地** {ワウヂ} 1 日葡Vōgi あってVōchiなし。「国王の領土、あるいは、国」。

**王法** {ワウボウ} 1 これもVōbō。Vōfōはない。

**和琴** {ワゴン} 6

**院中** {キンチウ} 1 普通は寺院・僧院の中をさすが、ここでは関白の邸中を言っている。

**餌食** {エジキ} 3 • # 1 • {エ \* デキ} 4 日葡では「鳥や獸の食物」とあるが、8例中5例が「鬼の」餌食、残りは「虎狼」「猫」「鼠」。

**鳥帽子** {エボシ} 5 • # 1 • {エボウシ} # 5 日葡にYeboxiはなし。

**遠國** {ヨンゴク} 1 (サブラヒ<侍>) 日葡Vongoci・Yengociともにあるが、Yengociには「普通には、Vongociと言う」とある。

①' ルビなしの漢数字・「御」などを除いて仮名表記

**国中** {コクチウ・コクチウ} 2

**御酒** {ゴシュ} 10 (ごしゅ 1 • 御しゅ 9) 「酒の尊敬した言い方」と日葡にある。

山莊 {サンサウ} 1 (御一)  
装束 {シャウゾク} 18 (御一 11・す 3) • # 2 (御一) ⇔ 「ころも」「きぬ」多数あり。  
「装束」は、日葡によれば「改まってつける装飾・衣装」だが、用例は単なる衣装の場合もある。  
所領 {ショリヤウ} 6 (御一) • # 4 (漢字表記1例)  
大河 {大ガ} 1 / 大国 {大コク} 1  
大地 {大ヂ} 1 日葡・平家も Daichi (チ) はなし。  
堂 {ダウ} 14 (み・御一 7 • # 2, 御み一) (-堂はたくさん)  
帳台 {チヤウダイ} 1 (御一) • # 1 0 書言は「帳内」の字。「主人所居」とあり、貴人の寝所を言うが、「御ちやうだい」の1例は神に捧げるものを指して用いられている。日葡の「Xōdai」例、Voxōdai. I, Mixōdai. 神の本体を象徴するために、神の前に吊り下げておく金属製の鏡、あるいは、像。」を参照すると、異本の「みしやうだい」が正しい形と考えるべきか。  
殿中 {デン中} 1 / 直衣 {ナヲシ} 1 (御一)  
判 {ハン} 3 (御一) 印のこと。 / 宝殿 {ホウデン} 4 (御一)  
本国 {ホンゴク・本ゴク} 3 / 本院 {本\*イン}  
名所 {名ショ・メイショ} 1 • # 1 (メイショキウセキ)  
領 {リヤウ} 2 (-ない<内>1) • # 4 (御一)  
陸地 {ロクヂ・ロク地} 4 日葡では Rocugi で「陸地・陸路」、Ricugi が「陸上の道」、書言も「陸地」はロクヂ・リクチで「陸路」がリクヂ。Cuga が海に対する陸地を指すようだが、「りくぢ」「くが」の用例なく、「ろくぢ」で陸の意にも陸路の意味にも用いられている。

## ②漢字表記のみ

暗室 (アンシツ) # 1 日葡になし。 / 衣冠 (イクハン) # 1  
雲底 (庭?) (ウンティ) # 1 日葡になし。「底」とも「庭」とも読める字で、大系注「雲の下(または雲の中)にたたずむとの意か」  
雲霧 (ウンブ) # 1 日葡には「雲と霧と。文書語」とある。  
煙塵 (エンヂン) # 1  
煙波 (エンハ) # 1 「Yenpa. すなわち、大きな煙のように見える波」(日葡)。  
講堂 (カウダウ) # 1 / 学文所 (ガクモンジョ) # 1 「学文」の項<sup>22</sup> 参照のこと。  
甲冑 (カツチユウ) # 2 ⇔ 「かぶと」の用例はあるが「よろひ」なし。  
閑庭 (カンティ) # 1 日葡では「人気のない、寂しい庭、または、人の住んでいない家の中庭、すなわち、庭」。  
魚脳 (ギヨナウ) # 1 (-ノトウロ<燈炉>) 日葡になし。用例は『秋夜長物語』のもの。大系注「魚の脳骨を煮て琥珀のようになったものを灯籠の代用にしたという」とする。日国では15世紀の文献を用例として引く。  
金紗 (キンシャ) # 1 日葡「黄金の砂」。Qinsa はなし。  
近所 (キンジョ) # 1  
金張 (キンチヤウ) # 1 日葡「Qinchō」の訓注は、「Nixiqino noren」。つまり、「錦帳」のようだが、用例は「新羅大明神～金張ノ内ヨリ出向セ給フ」だから、用字の誤りか?  
金欄 (キンラン) # 1 / 湖水 (コスイ) # 5  
金堂 (コンダウ) # 3 / 日月 (ジツゲツ) # 1  
四方輿 (シハウゴシ) # 2 日葡になし。  
城郭 (ジヤウカク) # 1 / 鐘樓 (シヤウラウ) 1  
神水 (シンスイ) # 1 / 神託 (シンタク) # 1

進物（シンモツ） #1 ／水干（スイカン） #5 (水魚紗のー2)

消息（セウソク） #1 日葡見出しへXôsocuでXôsocoではない。「書状」の意のほかに「書状に用いられる日本の文字（＝漢字を言っている）」の意を挙げている。⇒「ふみ」86例、「御ふみ」「御ぶみ」各1例。

第宅（ティタク） #1 日葡・書言になし。

泥土（デイト） #1 日葡 Deito。Deidoはなし。⇒「どろ」の用例なし。「でい（泥）のはちす（蓮）」1例。

殿（デン） #1 日葡Dencacu（殿閣）あってDen なし。

燈炉（トウロ） #1 日葡のTôroは「トウロウ」ではなく「トウロ」だが、語義からすると「灯籠」。

茅屋（バウヲク） #1 「Böuocu. 茅葺きの家、あるいは、草葺きの家」（日葡）。「貧居曰茅屋」（書言）。

反魂香（ハンゴンカウ） #1 死者の魂を呼び返すという香。「シナでゼンチョが、この香のたちこめる中に死者の靈魂が見えると思っていたもの」（日葡）。

盤石（バンジヤク） #1 （一をたゝみたる石の棲（＝牢）） 巨大な石のこと。比喩的な用法（「盤石の構え」のような）ではない。

屏（ヘイ） 1 Feiは「板か藁かで覆いをした土垣」，Caqiは「柴や木などの垣」，Tçuigiが「練土で作った垣、あるいは、土垣」（Tçufigiも同），Tçuicaqiは「ある様式の垣、または、固い壁」（すべて日葡）。⇒「ついぢ」8例、「かきかべ」1例のみあり。

碧瑠璃（ヘキルリ） #1 ／門室（モンシツ） #1

餘煙（ヨエン） #1 「おびただしくて他の方へ及ぶ煙」（日葡）。⇒「けぶり」多数あり、「けむり」はなし。

雷鼓（ライコ） #1 日葡・書言ともなし。

簾台（レンダイ） #1 「衣類を掛け垂らして納める、脚付きの架台のような所」（日葡）。

### ③漢字・仮名表記混在（含ルビ付）

庵室 {アンシツ} 6・#2 {庵室} 日葡見出しへAnjit。Anxitなし。

衣装 {イシャウ・イシャウ} 3 (御-1)・#2 (漢字表記1例のみ)

海上 {カイシャウ・カイシャウ} 3 日葡Caixõ。Caijõなし。

樂屋 {ガク屋} 2 混種語。「演劇の出演者が扮装をする所、あるいは、そこから出る所」（日葡）。

御簾 {御レン} #1 日葡「Guieren.すなわち, Misu.」⇒「みす」12例。

近国 {キンゴク} 2・#1 (漢字表記1例)

金石 {キン石} #1 ここでの用例は「儀（義）を金石に秘し命を塵芥に軽くす」で、義を金石（金属や石）のように固く守り、命を塵のように軽く捨てることを言う。

金錢 {キンセン・キンセン} 6 ／灰燼 {クハイ燼} #1

古郷 {コキヤウ・コキヤウ} 1・#1 ⇒「ふるさと」の例多数。

御所 {ゴショ・御ショ} 3 4 (-がた2)・#9 (-中ゴショヂウ1)

御殿 {ゴテン・御テン} 4 (漢字表記1例)

官録 {クワンロク} 1 用例は「官禄」の意である（官位・俸禄）。日葡ではRocuは「財貨」。

輕軒 {ケイケン} #1 大系注「軽快で作りのよい車」。日葡・書言になし。太平記に見える。

下界 {ゲカイ・ゲカイ} 2 ／座 {ザ・ザ} 3・#2 (漢字表記1例)

山中 {サンチウ} 2・#1 (漢字表記1例) ／字 {ジ} 1・#3

詩歌 {シイカ・シ\*ヰカ} 4・#1 (漢字表記1例)

**将棋** {シャウギ} 1 • # 1 (将木倒) Xōguidauoxiは日葡にもあるが、将棋の駒を倒す意で、この用例（次々と人を刀でなぎ払う様子）のような比喩的な用法の説明はない。書言「将棋倒（シャウギタヲシ）」には「俗語」とある。

**障子** {シャウジ} 4 • # 1 (すき障子)

**宿宿** {シユクシユク} 1 /宿所 {シユクショ} 3 (御シユクショ 1) • # 1

**上代** {上ダイ・上ダイ} 2 「末代」とのセットで使われている例が2例。

**諸国** {ショコク・ショコク} 2

**所領** {ショリヤウ} 6 (御-1) • # 4 (漢字表記 1 例)

**書院** {ショ院} # 5 (漢字表記 4 例)

**食事** {ショクジ・ショクジ} 7 (漢字表記 1 例) • # 2

**神徳** {シントク} 1 /神力 {シンリキ・シンリキ} 2

**水中** {スイチウ} 1

**小船** {セウセン} 1 ⇔「こぶね」2, 「はし舟」1 /舟中 {センチウ} 1

**大海** {大ガイ} 1 「たいかい」ではない。日葡・書言でもDaicai・ダイカイでTaicaiはない。

**太鼓** {タイコ・タイコ} 5

**大内** {大タイ} # 1 内裏を指す。日葡にはDaidaiないが、Taidairiあり。書言は「大内（タイダイ）」。

**大道** {ダイダウ・大ダウ} 3

**内裏** {ダイリ・大リ} 4 3 • # 9 ⇔「うち」1

**地** {チ・チ} 1 3 • # 7

**茶** {チャヤ} 2 (チャブクロ<茶袋>1 • チャブクロ 1) • # 2 (漢字表記 1 例)

**塵芥** {塵カイ} # 1 「金石」参照のこと。

**帝城** {テイセイ} # 1 大系注には「宮城・王城」とあるが、日葡Teixeいは「国王の首都、すなわち、国王の住む首府」としており、都そのものを指すと考えてこの用例も解釈できる。

**庭前** {テイゼン} 1

**亭屋茅台** {ティ\*オクバウ台} # 1 日葡・書言になし。

**鐵** {テツ・テツ} 2 ⇔「くろがね」12 例あり。

**鉄杖** {テツヂヤウ・テツ\*デウ} 2 『酒呑童子』の用例。「Tetçugið. 鉄製の杖、またな、棒、文書語」(日葡)。

**天下** {テンカ・テンカ・天カ} 1 2 (漢字表記 6 例) • # 1

**天井** {テンジヤウ・天ジヤウ} 2 • # 1 (漢字表記 1 例)

**天道** {テンタウ・テンタウ} 9 • # 1 日葡では、「Tentō」は「天の道、すなわち、天の秩序と摂理と」。「Tendō」は「天空の上、または、空」で、語義が異なる。『御伽草子』の用例は「～に祈る、訴ゆる」「～の恵み、あはれみ、告げ」「～より与える、給はる」で、「天の神様」のように解せる。どちらかといえばTentōに近い。

**天地** {テンチ・テンチ} 3 (漢字表記 1) ⇔「あめつち」1 例。

**東西** {トウザイ・トウザイ} 3 (トウザイナンボク) • # 1 (トウザイナンボク 1)

**日輪月輪** {ニチリング\*ハツリン} 1 日葡にGuatrinなし。

**日本国** {ニホンゴク・ニホンコク} 5 (漢字表記 2 例) • # 1 (ニツホンゴク)

**拝殿** {ハイデン} # 1 (御-) /方 {ハウ・ハウ} 5

**白米** {ハクマイ} 1 ⇔「こめ」ルビで5例。

**屏風** {ビ\*ヨウブ・ビヤウブ} 4 (ハリツケビヤウブ 1 • フタヘビヤウブ 1)

**辺** {ヘン・ヘン} 6 (カミギヤウ<上京>ヘン 1 • 白カハ<河>ヘン 1) • # 1 (漢字表記 1 例)

「Fen」とは、日葡によれば「端、縁、地方、または、在所」で、「～あたり」の意。

北国 {ホツコク} 1・#2 (-ガタ1)

本 {ホン・ホン} 3 (物ノホン1) • #1 日葡の「Fon」には、「書物」の意以外に「本来のもの、決定的なもの」との説明がある。挙げられた例に「Miōmon riyōu fontosu. (偽善による名声、また、自分の利得や利益を得ようと努める)」「Vaqivaqini yūta cotou fonni itasuna. (物陰でこっそり言われている事とか、上級者でもない個人の言う事とかに頗着するな)」などがあり、「一番大事とする」「本気にする、確かだとする」との意味が読みとれる。『御伽草子』では、「物の本」は書物の意だが、それ以外に「本職・本分とする」「本当である」「手本」の意味の用例が見られる。⇒「ふみ」は86例すべて「手紙」の意で「書物」なし。

末代 {マツダイ・マツダイ} 3 /名船 {メイセン} 1

木像 {モクザウ・モク\*ゾウ} 5 (漢字表記1例)

文 {モン・モン} 5 着物などの模様を指す。

門 {モン} 22 (御もん2) • #2 /門前 {モンゼン・モンゼン} 2

薬研堀 {ヤゲン堀} #1 混種語。「薬研」は、日葡によると「薬を碾き碎く或る種の乳鉢」で、Yaguenboriは、「この乳鉢、すなわち、薬を碾き碎く鉢の格好に造った堀」とある。V字形に掘られたものようである。

夜半 {ヤハン} 1 ⇒「よは<夜半>」8例

洛中 {ラクチウ・ラクチウ・洛チウ} 8 /欄干 {ランカン} #1

両国 {リヤウゴク・リヤウゴク・リヤウゴク} 5 (漢字表記1例)

料足 {レウソク・レウソク・\*リヤウソク} 4 「Reōsoku. Ieni(錢)に同じ」(日葡)。

樓 {ロウ・ラウ} 12・#5 (漢字表記5例) 漢字表記が「樓」となっているが、17例すべて「牢」のこと。

和歌 {ワカ・ワカ} 4 (-ノミチ<道>2) ⇒「うた」は多数あるが、「和歌」は「和歌の道」2例のほかには「小倉の色紙の和歌」(=百人一首) 1例と、その直後の1例のみで、成句的なものに限られる。

黄金 {ワウゴン} 1

帷帳 {\*イチャウ} 1 日葡になし。かやのこと。書言には「帷帳 キチャウ」。

## 2-2. 人間・人体

### ①仮名表記のみ

悪王 {アクワウ} #9 暴君の王。

遊君 {\*ユフクン} 6 (-ども2) • #1 {ユウクン} 日葡「Qeixeilに同じ」とある。遊女。

遊民 {\*ユフミン} #1 職業がなく遊んでいる者。 日葡にないが書言に「遊民 (ユウミン)」あり。

更衣 {カウイ} #1

強盜 {ガウダウ} #1 日葡Gōdō. Gōtōはない。書言もガウドウ。

脚力 {カクリキ} #1 飛脚のこと。Qiacuriqi日葡になし。

歌人 {カジン} 2

近習 {キンジユ} #1 日葡QinxuなくQinju. 訓注「Chicaqu narō (近く習ふ)」。

愚人 {グニン} 1 /公方 {ク\*ボウ} 1 (-サマ)

冠者 {クハングヤ・クワグヤ} 4 日葡ではQuanjaとQuajaとで語義が異なる。前者は「恩恵として公家の官位を賜わることに期待をかけながら、国王の宮殿に奉公する貴族の子弟」、後者は

「奉公人たる下賤の男、または、若者。軽蔑の意をこめて言う」。『御伽草子』中の用例のうち2例「くわんじや」「くわじや」は、接近した部分で使われており、同一の上級者から下位者への呼びかけであるため、後者と解される。一方、名前に下接する「九郎くわんじやよしつね」「さたけのくわんじや」の2例は、どちらも前者と解して問題はない。書言では右訓クハンジヤ、左訓クハジヤで、「冠した20才の男子」の意と、「弱年者」を首服に加えることをしりぞける、という意が注としてつけてある。

管領 {ク\*ハンレイ} #1 / 傾城 {ケイセイ} 1 遊女。

継母 {ケイボ} 4 ⇔ 「ままはは (ごぜん)」9例あり。

家来 {ケライ} 1 (-ノモノ) Qerai は「一族の人々、あるいは、一家に属する人々」(日葡)だが、Qerainomono は「ある家に属する人々、または、家臣、召使いども」の意となる。

慳貪者 {ケンドンシヤ} 1 「慳貪」参照<sup>3)</sup>。

検非違使 {ケンビキシ} #1 日葡Qenbiyxi. l, qebiyxi. で、「けんびゆし」が正規の語形だったことを伺わせる。ちなみにQempiyxiの形も存する。書言では右訓ケビキシ、左訓ケンヒキシ。

獄卒 {ゴクソツ} 1

妻女 {サイヂヨ} 1 ⇔ 「つま」多数。

相人 {サウニン} #16

雑色 {ザウシキ・ザツシキ} 7 日葡Zōxiqi. l, zaxxiqi. 「ざうしき」の方が正用らしく、用例でも6例が「ざうしき」、「ざつしき」は1例であった。

雑餉 {ザツシヤウ} 4 「伝言を持たせて人の元に遣わされる者。また、俗衆の間では、酒や食物の贈り物のことを行う」(日葡)。この4例はすべてもてなしのご馳走の意。書言では人倫門に「雜掌 (ザツシヤウ)」あって注は「今世で伝奏家の家長をいう」。また服食門に「雜餉 (ザツシヤウ)」がある。

主上 {シユシャウ} 1 Xuxō. 訓注にTeiuō, taixō. とあり、国王と総大将と、なっている。用例は「しゆしやうに参らん」だが、「主将」をあてるべきか?(日葡にXujōはない)。

尉 {ジョウ} #15 (-殿7) / 臣 {シン} #2

親子 {シンシ} 1 ⇔ 「おやこ (子)」8 日葡にXinxiあり。

親類 {シンルイ} 1 / 隨身 {ズイジン} #2 (ミー1)

生長者 {セイヂヤウシヤ} #1 「Xeigiō」「ぢ」は濁音。易林本節用集「生長」をあてる。書言は「成長」。

摂政 {セツシヤウ} 1 (-殿)

先達 {センダチ} 2 日葡「Xendachi. l, xendat. 山へ聖地巡拝に行く際の、山伏のかしらで道案内をする者。また、比喩。案内者。すなわち、道を示しながら先に立って行く人。ただし、この第二の意味は、あまり正しい言い方ではなく、また、あまり用いられもない。」用例2例は第一の意味だが、第二の意味が「あまり正しくない」というのもおもしろい。

奏者 {\*サウシヤ} 1 「人に代わって主君に申し上げたり、伝言を主君に取り次いだりすることを役目としている人」(日葡)。

宗匠 {ソウシヤウ} 1 日葡では「連歌の師匠」とする。

総領 {ソウリヤウ} 1 長男のこと。「惣領」とも書く。書言では「総領 (ソウレウ)」。

他人 {タニン} 1 / 知音 {チ\*キン} #1 書言「知音 (チキン) 良友也」。

地下 {ヂゲ} #1 殿上を許されない下位の者を指す語だったが、日葡の「Gigue. (l, giguenin. l, giguexu.)」には、「町や村の土着の人、または、その住民」とあって庶民を指す。書言では古義が書かれている。

地頭 {ヂトウ} 5 (-殿2) / 中宮 {チウグウ} 1

貞女 {ティヂヨ} 4 (一の法 3 • 一の道 1) ／東宮 {トウグウ} # 3

尼公 {ニコウ} 1 0 (-サマ 2) • # 1 (ニ\*カウ)

女子 {ニヨシ} 4 • # 1 Gioxiは日葡になし。Nhoxi (女の子, また, 婦人) のみ。

⇒ 「をんなご」 1例, 「をんな (女)」 30例 • # 14例

傍輩 {ハウバイ • \*ホウバイ • ハウバ\*ヒ} 3 (-シウ (衆) 1) • # 2 (-ドモ 1) 仲間。  
同輩。

美人 {ビジン} 2 ／美男 {ビナン} 2 (オトコ<男>-) • # 1

病者 {ビヤウジヤ} 1 • # 1 Biōja • Biōnin, 日葡には両形あり。

別当 {ベツタウ} 1 大系注「別当は神宮司を支配する者」。

法皇 {ホウワウ} 2 ／本妻 {ホンサイ} 1

名字 {ミヤウジ} 1 • # 1 日葡の「Miōji」は「姓」を指すと言っているが, 『物くさ太郎』の用例では単に名前を尋ねる時に用いられている。書言の用字は「名氏 又作苗氏」。

命婦 {ミヤウブ} 1 (-ドノ)

名人 {メイジン} 1 ／名童 {メイトウ} 1

目代 {モクダイ} 1 「自分に委託されたもの, たとえば, 或る在所とか村落とかなどを, 見回り監視することを職とする役人」(日葡)。

養子 {ヤウシ} 1 日葡見出しへは「Yōji, 1, yōxi.」で, 一般には「やうじ」と見られる。

連衆 {レンシユ} 1 大系注「連歌の席に加わる者」書言にもあるが注はない。

老体 {ラウタイ} # 1 日葡の「Rōtai」には「Toxi yoriに同じ」とあるが, 「としより」の用例なし。

郎等 {ラウドウ} 3 日葡「Rōdō」。「Rōtō」なし。「ある主君の臣下たる武士」。

籠者 {ロウシャ} 7 (御-1 • -す 2) 「ろうしや」は囚人。

骸骨 {ガイコツ} 1

顔色 {ガンショク} 1 ⇒ 「かほいろ」はなし。

産 {サン} 4 (御-2) • # 1 用例の内3例が「(御) 産の紐をとく」で, 日葡「San」の説明中にある「Sanno fimouo tocu. 産む」にあたる。

胴 {ドウ} 1 ／鬚 {ビン} 5 (リヤウ<両>- 2)

脈 {ミヤク} # 1

①' ルビなしの漢数字・「御」などを除いて仮名表記

遊女 {\*ユフヂヨ • ユフヂヨ • ユフ女} 4 これも日葡では「Qeixeiiに同じ」とする。 ⇒ 「あそびめ」なし。

御曹司 {御ザウシ} 33

客人 {キヤクジン • キヤク人} 2 ⇒ 「御きやくもじ」 1

下臍 {ゲラウ • ゲラウ} 4 • # 1

御前 {ゴゼン • 御ゼン} 4 (御ゼンタチ 3) • # 2

御辺 {御ヘン} # 1 二人称。「Gofen. Qixoに同じ。あなた。」(日葡)

御料 {御レウ} 1 用例は頼朝を指す。「Goreōnin. 貴人のむすめとか, 貴人ほどではない人の娘とかを尊敬して言う」(日葡)。

罪人 {ザイニン • ザイ人} 1 • # 1 ／使者 {シシャ} 1 (御-)

舍弟 {シャテイ} 1 (御-) 日葡「Votouoto, 1, vototoに同じ」。⇒ 「おとうと」 1例, 「おとと」 5例。

- 上臍** {上ラウ} 14 (－タチ 2・ヂヤウラウシユ<衆>1) • #12 (－サマ 1・－タチ 2)  
**成人** {セイジン} #1 (御ー) / 小名 {セウミヤウ・小ミヤウ} 2  
**少納言** {セウナゴン・少ナゴン} 10 (－ドノ 1) • #  
**善人** {ゼン人} #1 / 大宮司 {大グウジ} 33 (－殿26・大グジドノ 1)  
**大軍勢** {大グンゼイ} #1 / 大国王 {大コクワウ} #1  
**太子** {\*大シ} #1 日葡「Taixi」には「国王の子息」とある。  
**大将军** {大シヤウグン} 1  
**大納言** {大ナゴン} 8 (－ドノ・ドノ 5)  
**人皇** {ニンワウ・人ワウ} 2 人間としての天皇、また、(人間として位についた)日本の最初の天皇を言う。ここでは後者。  
**夜盜** {ヨタウ・夜タウ} 3 日葡にはYotōはあるがYatōなし。
- 五臓六腑** {五ザウ六フ・五ザウロツフ} 3 肺・心・脾・肝・腎の五臓と、大腸・小腸・胃・胆・膀胱・三焦の六腑。
- 骨** {コツ} 2 (御ー1) • #7 (御ー3) ⇔ 「ほね」9例あり。
- 相好** {サウガウ} #2 (御ー) 「顔の形、あるいは、人相」(日葡)。
- 死骸** {シガイ} 3

### ②漢字表記のみ

- 騎馬** (キバ) #1 / 小姓 (コシヤウ) 2  
**左大臣** (サダイジン) #1  
**三台九棘** (サンダイキウキヨク) #1 三公九卿。三公は太政大臣・左大臣・右大臣。  
**仕丁** (ジチヤウ) #1 「Iicho. 人足、すなわち、荷物を運搬する人」(日葡)。  
**侍女** (ジジョ) #1 / 隨兵 (ズイヘイ) #1  
**大人高客** (タイジンカウカク) #1 「Taijin」は日葡で「貴人」だが、「Cōcacu」はなし。  
**内府** (ダイフ) #1 「Daifu. Naidaijinに同じ。」(日葡)。書言「内大臣唐名」。  
**達人** (タッジン) #1 / 老翁 (ラウオウ) #3

**蛾眉** (ガビ) #1 「蚕。また、比喩。絹の糸を作る時の蚕のような眉をした、美しくととのった婦人の顔」(日葡)。

### ③漢字・仮名表記混在 (含ルビ付)

- 悪人** {アクニン・アクニン} 3  
**医師** {イシ・イシ} 2 ⇔ 「くすし」#3  
**客** {カク} #3 (漢字表記1例) 日葡には「Cacu」も「Qiacu」もあるが、用例に「きゃく」なし、「きゃくじん」のみ。  
**貴賤** {キセン} 7 (一群集キセンクンジュ・グンシユ5, キセン上下) • #3 (貴賤上下)  
**兄弟** {キヤウダイ・キヤウダイ} 6 • #1  
**君達** {キンダチ・キンダチ・キムダチ} 13 (御キンダチ4) • #5 (御キンダチ<君達>1・キン<君>ダチ2・公達1)  
**禁中** {キンチウ} 3 (キンチウサマ1) 3例とも天皇のこと。  
**公卿** {クギヤウ・クギヤウ} 8 • #11 / 公家 {クゲ・クゲ} 3 • #1 (漢字表記1例)  
**官人** {ク\*ハンニン・クワンニン} 5

閥白 {ク \* ハンバク・クハンバク} 4 (一殿 1・一殿 2) Quanbacu, Quanpacu, 日葡両者。

下女 {ゲヂヨ・ゲジヨ} 15・# 1

下人 {ゲニン・ゲニン・ゲ人} 4 (漢字表記 1 例)

扈従 {コ \* セフ} # 1 大系注には「隨行、御供」とあるが、日葡になし。書言「扈従 (コショウ)・小性」で、「君主に従って行く」と注する。

御所様 {御ショサマ・御シヨサマ・御シヨサマ} 7 (一ガタ 1)・# 3 (御所サマ 1・漢字表記 1 例) 日葡に「Goxo. 公方、または、すでに隠居した国王の宮殿。また、公方自身をさす。」とあり、「様」が付いたものはすべて後者の意である。

古人 {コジン} 1・# 1 / 妻子 {サイシ} 1・# 1

宰相 {サイシヤウ・サイシヤウ} 39 (一殿 2・ノキミ 6)

師 {シ} # 2 (漢字表記 1 例)

侍従 {ジジウ} 10 (ノツボネ 3)・# 1 (侍従殿)

師匠 {シシヤウ} 1・# 3 (漢字表記 3 例) / 詩人 {シジン} 2

子息 {シソク} 1・# 1 (ゴシソク) / 子孫 {シソン・シソン} 5 (一ハンジヤウ 2)・# 2

次男 {ジナン・ジ男} 2 (三男 {ミナン} 1)

死人 {シニン} 1・# 1 (漢字表記 1 例のみ)

將軍 {シヤウグン・シヤウグン} 1・# 4

執筆 {シユヒツ} 1 日葡「Xufit. Fude Tori. 書記」。

諸人 {ショニン・ショ人} 1・# 1 / 臣下 {シンカ} 1 (一タチ)

身命 {シンミヤウ} 1・# 1 (漢字表記 1 例のみ) 日葡見出しは「Xinmei. 1, xinmeo」となっているが、「シンメイ」の用例なし。「この身の命、または、肉体の命」。

成人 {セイジン} 2 (セイジンす 1)・# 1 (セイジンす)

少将 {セウシヤウ} 4 (ドノ 1)

小人 {セウジン・セウニン} 8 「子ども、また、無知で学問のない人、または、徳義のない人」(日葡)。

船頭 {センドウ} 3 (センドウ ドモ 2)

代官 {ダイクワン・大ク \* ハン} 2・# 1 (漢字表記 1 例)

大軍 {タイグン} 1

大将 {大シヤウ} 6 (ノニウダウ <入道> 1・コンヒラ - 1・ゲンジノ ダイシヤウ 2・サコンノウ 大シヤウ 1)

大臣 {ダイジン・ダイジン} 8 (ダイジンドノ 1・大ジンドノ 1・大ミヤノ タイジンドノ 1)・# 10 (大ジン)

大敵 {タイテキ} 1

大名 {大ミヤウ} 24 (タチ 6・シユ <衆> 1・ドモ 1・ショ <諸> - 1・漢字表記 1 例)・# 1

長者 {チャウジヤ・チャウジヤ・チャウジヤ・長ジヤ} 7 (シュダツ - 1)・# 2 (漢字表記 2 例)

中間 {チウゲン} 1 書言では「本朝俗、奴隸を小人とも中間とも呼ぶ」となっているが、日葡では「馬丁」。召使。

中納言 {チウナゴン・チウナゴン・中ナゴン・中ナゴン・チウナゴン} 30 (一殿 2)

亭主 {ティシユ・ティシユ} 6 日葡に「家の主人」とある。「Gotei. または, Goteixu. とも

言い、むしろその方がまさる。家の主人。」という項もある。

**帝王** {テイワウ} 1

**弟子** {デシ・デシ} 5 (御-3・ードウゼン<同然>1) • # 5 (漢字表記3例) (御-2)

**天下** {テンカ・天カ} 11 (-殿1・クハンバク<閑白>天下1) 「殿下」のこと。日葡では「Tenca」は「天下」で「君主の権、または、国家」、「Tenga」は「殿下」で「閑白の官位」となっている。書言では「殿下(テンガ)」は「摂家居宅」、「天下」も「テンガ」。

**天子** {天シ} 1

**殿上人** {テンジヤウ人・テン上人・テンジヤウ人} 7 • # 7

**天皇** {テンワウ・天ワウ} 4 「～天皇」多数。連声になつてない。

**同朋** {ドウバウ} 1 • # 1 (-同宿・漢字表記1例) 日葡に二つの「ドウバウ」がある。一つめは「Dōbō」とあるが「Dōbō」の誤りと考えられる。「同じ僧院の仲間」で、漢字表記の「同朋同宿」はこちらにあたる。もう一つは「Dōbō」で、「屋形、すなわち、大名の御殿に奉公するある種の剃髪者」のこり1例はこちらである。

**男子** {ナンシ} 8 (ナ\*ニシ1) • # 3 ⇔ 「を(お)のこ」5, 「をとこ」30 • # 8, 「男」2

**男女** {ナンニヨ・ナンニヨ} 3 (ドウゾク<道俗>-2) • # 5 (ドウゾク-5, 漢字表記3例)

**入道** {ニウダウ} 4 (-ド/1) • # 6 (ニウダウ4・ニウダウソウ1)

**女御** {ニヨウゴ・ニヨウゴ・ネウゴ} 4 • # 9 (ニウゴ1)

**女房** {女バウ・ニ\*ヨウバウ・\*ネウバウ・\*ニウバウ} 139 (漢字表記1例・女バウ111例)

(御-1・御ネウバウシウ<衆>1・ータチ24・一ども1) • # 27 (漢字表記5例) (-たち5)

**女院** {ニヨウキン・ニヨウキン} 6 (漢字表記2例)

**女官** {ニヨクハン} 1

**女人** {ニヨニン} 4 (漢字表記1例) • # 2 (ニヨ人1・漢字表記1例) 婦人。

**女性** {ニヨショウ} # 1 日葡は「Nhoninに同じ」とする。Ioxeiの語はない。

**人間** {ニンゲン・ニンゲン・ニンゲン・人ゲン} 18 • # 4 (漢字表記1例)

**人身** {ニンジン} # 1 日葡linxin なし。書言も「ニンジン」。

**番衆** {バンシュ} 1 警備の者たち。

**万民** {バンミン} 1 / **美女** {ビヂヨ} 1

**琵琶法師** {琵琶法シ} # 1

**百姓** {百シヤウ・百シヤウ} 5 (-ども2) • # 1 (御-)

**賓主** {ヒン主} # 1

**夫婦** {フウフ・フウ婦・フウ婦} 13 • # 1 ⇔ 「めをと」はなし。

**奉行** {ブギヤウ} 1 (御-) / **父子** {フシ} 2

**夫人** {ブジン・フジン・ブニン} 16 (リ<李>フジン8 • # 1 • タウ<唐>ノブジン3 • チヤウソン<長孫>ブジン2) • # 1 (漢字表記1例) 日葡では、「Bunin. 釈迦の國の王妃」、「Fujin. 国王の妻」と分けているが、用例は「李夫人(ふじん)」は武帝の夫人だが、1例の「ぶにん」は普通の「婦人」くらいの意味であって、区別は意識されていないようである。書言は右訓「フジン」左訓「ブニン」。「諸侯の妻」とある。ちなみに「婦人(フジン)」もあって「士の妻」または「嫁した女性」のこととなっている。

**父母** {ブモ} 1 日葡Bumo・Fubo 両形ともあり。

**御台** {ミダイ・ミダイ} 12 (御ミダイ1・サマ7・ードコロ2) • # 2 (ミダヒ所1)

**面々** {メンメン・メンメン} 7 • # 8 / **余人** {ヨジン} 1 他の人。

**老人** {ラウジン・ラウジン・ラウ人} 6 / **老母** {ラウボ・ラウボ} 2 • # 1

腰圍 {＊ヨウ圍}	# 1	/ 相 {サウ}	1 (御一) • # 2 (漢字表記 2 例)
死骨 {シコツ}	1	/ 白骨 {ハツコツ・ハツコツ}	3
糞 {フン}	1	/ 両眼 {リヤウガン・リヤウガン}	4

## 2-4. 動植物 (生物)

### ① 仮名表記のみ

鸚鵡 {ア * フム}	1	/ 海棠 {カイダウ}	# 1	
牡蠣 {カキ}	1	(「柿」と掛詞)		
柑子 {カンシ}	6	(-商人 <u>アキビト</u> 1)	蜜柑。	
牛馬 {ギウバ}	1	/ 菊 {キク}	3	
孔雀 {クジヤク}	5			
御形 {ゴギヤウ}		七草の一。書言では「五行草 (ゴギヤウサウ)」。		
虎狼 {コラウ}	1	↔ 「とらおほかめ」 1 例, 「とらおうかみ」 # 6 例, 「とらおふかみ」 # 3 例。		
果李木 {クワリホク}	1	日葡には[Quarin] のみ。(「やや赤い色をした, シナの或る木」。)		
易林本に「果李クワリン」とある。				
紅葉 {コウエ * ウ}	1	↔ 「もみぢ」 6	/ 紅花綠葉 {コウクワリヨク * ヨウ}	# 2
紫檀 {シタン}	1			
蛇体 {ジヤタイ}	# 2	↔ 「へび・へみ」 はなし		
熟柿 {ジユクシ}	# 1	(-くささ)	↔ 「かき」 5	
青苔旧苔 {セイタイキウタイ}	1	「Xeitai」は「緑色の苔。文書語」, 「Qiūtai」は「古い苔, または, 多くの年月を経た苔」(日葡)。		
松竹梅 {＊セウチクバイ}	# 1			
丹菓 {タンク * ハ}	2 • # 1	(タンクワ) 「一の唇」。日葡にも「Tanquano cuchibiru.」と いう見出し語があり, 「Botan (牡丹) という花に似て, 赤い, 愛嬌のある唇」と説明している。 書言では「丹花唇 (タンクハノクチビル)」。		
畜類 {チクルイ}	4	/ 梅花 {バイクワ・バイク * ハ}	2	
白鷺鳥 {ハクガテ * フ}	3	/ 芙蓉 {フヨウ}	1	
名馬 {メイバ}	1	/ 名木 {メイボク}	1	
楊梅桃李 {ヤウバイ * トウリ}	1			
蘭麝 {ランジヤ}	1	「匂いのよい物」(日葡)。書言には「ランジヤタイ (蘭奢待)」がある。		
瑠璃 {ルリ}	9			
鴛鴦 {エン * ウワ・エンア * フ・エン * オウ}	7	(-ヒヨク <比翼> 1) • # 1 (エンワフ) ↔ 「をし」 2, 「をしどり」 2		

### ①' ルビなしの漢数字・「御」などを除いて仮名表記

万木千草 {バンボク千サウ}	1
----------------	---

### ② 漢字表記のみ

紫蘭 (シラン)	# 1	/ 前栽 (センザイ)	# 1
木石 (ボクセキ)	1	↔ 「いは (わ) き (木)」	5
老木 (ラウボク)	# 1		

**落花** (ラツクワ) #1 「落花枝ヲ辞（シ）テ二度咲ク習ナク」という用例。謡曲『八島』の一節を下敷きにしている。日葡にも、「Racqua. 花が散り落ちること。例、Racqua yedani cayerazu. 散り落ちた花は再び枝にかえらない。過ぎ去った年齢とか年月とかは返って来ないということの比喩に用いられる。」とある。

**落葉** (ラツクワ) #1 「葉子」は果物。「果」と「葉」を同様に用いる。

### ③漢字・仮名表記混在（含ルビ付）

**花木** {クワボク} 1

**紅梅** {コウバイ} 4 • #2 (漢字表記2例) 1例のみ梅の木と衣の色の掛詞だが、他は衣の色を言うもの。

**草木** {サウモク・サウモク} 3 (ヒヤウ<非情>-1) ⇔「くさき(木)」2 • #1

**紫荊樹** {シケイジユ} 1 はなずおうこと。

**大象** {大ザウ} 1 / **大木** {タイボク・大ボク} 2

**竹林** {チクリン} 1 / **鳥類** {テウルイ・テウルイ} 4

**敗荷** {ハイガ} #1 大系注「風などに吹きやぶられた蓮の実。霜枯れの蓮。」日葡・節用集にはなし。

以上、『御伽草子』の漢語について一通り概観してみた。第2節1章の「動作・事象」関係の語の調査後とほぼ同じ結論が得られると思う。『御伽草子』には、仏教関連語彙以外に、相当多くの漢語が用いられており、それらの語は、日葡辞書などに挙げられた語義で説明できることが多い。中世軍記物語の用法の踏襲、慣用表現の多様などに見られるような、やや古い用法を残しながら、室町時代末期の語義語法となっていると見てよい例がほとんどである。いくつかの語については、明らかに新しい用法をもつて至っているし、近世語と考えたい用例なども散見されたが、これらについては和語の調査とあわせ、改めて整理したい。

とにかく驚くほど日葡辞書の語義説明にあてはまることが多い。例文に引いてあるものとまったく一致したり、ちょっとした変形が加わっているだけ、というケースもかなり見られた。やはり思っていた以上に『御伽草子』の文章は、中世の文学作品——軍記物であったり謡曲であったり——の端々から印象的な表現を借りてきて、それまでの文章表現の枠を大きく出ないような語の選択を行っているのだ（結果的に）と思われた。

簡単な漢語でも、ルビが付されたり仮名書きになっている場合が多く、本稿で調査した範囲でも、漢字表記のみは#マーク付きのものにはほぼ限られるのは、前稿までで見てきたのと同様である。ただし、簡単な漢字（「大・小・人」など）だけを漢字表記して、かえって文中から語を見分けにくくなっている場合も見られた。あまり知識のない読み手を想定して、わかりやすい表記を心がけたために仮名書きが多くなった、という単純な思いつきでは、必ずしも説明できない。簡単な漢字を当て字のように用いることもある（「大くわん」など）ようである。長音の開合、ハ行・ワ行の書き分けなどの仮名遣いは異例が多く、かなりいい加減な印象を受けた。

このような漢語調査の結果に加えて、慣用表現（パターン化表現や出典をたどれる表現など）の調査、係り結びなど文法事項の調査を行い、最終的に『御伽草子』の語彙用法上の特徴についてまとめることとしたい。未だ課題が多いが、次稿で完結を目指すものである。

### 注

1) 宮武利江「御伽草子の語彙と表現（二）」東京成徳短期大学紀要（2000）

2) • 3) 同上

### 参考文献

- 市古貞次校注『御伽草子』岩波古典文学大系  
大島健彦校注『御伽草子集』小学館日本古典文学全集（初版1974）  
榎原邦彦・藤掛和美・塚原清編『御伽草子総索引』笠間書店（初版1994）  
土井忠生・森田武・長南実編訳『邦訳日葡辞書』岩波書店（1980）  
徳田和夫『お伽草子 研究』三弥井書店（1988）  
中田祝夫・小林祥次郎『書言字考節用集 研究並びに索引』風間書房（1973）